

わ や 便 り

〔和家たより〕 第4号

2021年1月20日発行
尾鷲市大字向井151番地1
特定非営利活動法人
まぐのりあ
電話(0597)37-4030
FAX(0597)37-4031

支援者の声「暮らしと社会参加を支援しています。」 Part2

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

「和家」開設から、まもなく2年になります。小規模で家庭的なグループホームを目標に、入居者の『暮らしを築き、社会参加をすすめていくこと』が最も大切なことだと思います。しかし、新型コロナウイルスの感染防止対策は「暮らし」「社会参加」を目指す私たちにとって難しい問題となりました。現在のところ、影響もなく、元気に暮らしておりますが、ホームでの暮らしのあり方や地域との交流、社会参加の場面では、今までとは違った生活を考えなければならないようです。

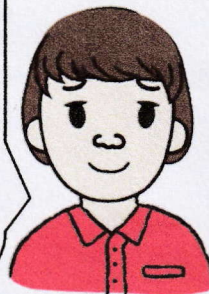
第3号では、支援の中核を担っている、常勤スタッフの紹介をさせていただきました。今号では、常勤スタッフとともに、入居者を支えている非常勤スタッフの平日の早朝の支援の様子をお届けします。



早朝に入居者の支援をしています。趣味は手芸や草花を育て楽しむことです。週に3日の業務で支援者の方と連携を取りながら、朝食作りや室内外の掃除、入居者の皆さんの見守りをしています。

朝の出会いから「今日も元気かな!」と、一人ひとりの様子やたわいのないおしゃべりをとおして、いろいろな思いに寄り添い入居の皆さんが気持ちよく生活できるような支援を心がけています。(垣内まみ)

月・木・土曜日の朝食作りを担当しています。毎回、冷蔵庫の中身と相談しつつマンネリ化をしないように心がけています。朝食は一日の始めの大切な食事だと思うので、美味しく楽しく摂ることがその日の活力になると思います。調理時間が30分なのでフル回転でメニューを考えて作るのも楽しい作業です。これからも”より美味しく・楽しく”をモットーに頑張りたいと思います。(西田章子)



リフトキャリーで快適に・・・

㊦㊦ 「いい湯だな」 ♪♪ 「いい湯だな」 ㊦㊦



社会福祉法人 丸紅基金様(東京都中央区)から、入浴介助用リフトキャリーの寄贈があり、12月15日、ズームによるリモート贈呈式がありました。車椅子等からリフトキャリーの座椅子に移乗後は、浴室まで移動でき、昇降スイッチにより浴槽での入浴ができます。

利用者の安全、快適さが確保され、一人の支援者で介護や操作ができ身体的負担が軽減されます。重度重複の障がいを持つ入居者が多くを占める和家では、開設以来、設置したいと思っていた設備です。ありがとうございました。





研 修

12月5日、和家でも「新型コロナの予防と感染拡大防止について」をテーマに、施設内研修が行われました。当法人理事(保健師)の、中島博子が講師を務めました。新型コロナ感染拡大が心配されており、「万が一、和家において発生したならば……。どうすればいいのか？」研修を受ける職員の表情は真剣そのものです。

【写真は防護服を身に着け、講演する中島博子理事と受講する職員】

～～参加者の感想～～

新型コロナのニュースの毎日なので、感染症の怖さ、インフルエンザとコロナの違いなど勉強になりました。万一の発生に備えての看護やグループホームとしての対応など、大切なことが、いっぱいの内容でした。(K)

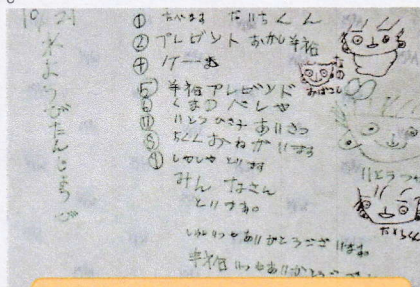
和家の暮らしと社会参加の様子をお知らせします。

家庭的な雰囲気と地域交流、社会参加が基本的な考え方です。しかし、新型コロナによる感染防止は「和家」の生活にも影響を及ぼしました。「地域交流」や「社会参加」の困難さを感じています。ホームでの生活は多くなりました。単調な生活とならないための工夫の一部を紹介します。

暮らし&社会参加



「回転すし」大好評！
アイデアが素晴らしい！



「手作りのお誕生会」ありがとう

マスクや外出自粛。慣れない生活ですが……時には誰もいない公園でリフレッシュ。



ありがとうございます

当法人の活動やグループホームの運営に多くの方々からご協力がありました。大切に活用させていただきます。



【賛助会員】2020年6月1日～2020年12月31日

第一プロパン 様、南漢方薬局 様、個人会員 10名

(合計) 73,000円(12口)

【寄付金】2020年6月1日～2020年12月31日

善光寺 様、NPO法人あいあい 様、日本基督教団尾鷲教会 様、匿名希望 2名

(合計) 132,000円

From まぐのりあ

★前号でもお伝えしましたが、

新型コロナウイルス感染防止のため、「和家」来客の際、検温、消毒、マスク着用などをお願いします。★「わや便り第4号」の感想をお寄せください。また、和家への質問や提案。障がい者福祉に対する意見など……「わや便り」に掲載していきたいと思えます。FAX(0597-37-4031)やEメール(magumagu@gaea.ocn.ne.jp)にてお願いします。



編集後記

❖前号に続き、支援者の声をお届けします。早朝からの業務にもかかわらず、入居者の身支度や朝食の支援。大変さがよくわかりました。❖リフトキャリーに試乗しました。便利さに感動しつつ……思ったこと。「温泉地などの宿泊先にあれば、障がい者や高齢者ももっと旅行が楽しむことができ、『癒やしと活力』に繋がるのではないだろうか?」。❖新型コロナウイルスの影響は、私たちが経験したことのない生活です。和家の入居者の生活も変えました。休日の余暇や外出の困難さ、ボランティアや地域との交流も自粛せざるをえません。一日も早い収束を……。 (Y)